

風流印字

●発行
 (株)和歌山印刷所
 〒640-8412 和歌山市狐島609-9
 TEL.073-451-4111
 FAX.073-452-2631

●発行年月日
 2018年7月1日

日差しが次第に強くなり、本格的な夏がやってきます。

こんにちは！和歌山印刷所、通称「わいん」です。

これからは自分が思っている以上に汗をかく季節になります!!こまめな水分補給をして、熱中症を予防しましょう!!
今回は私たちが取り組んでいる「WPM (わいん式予防保全)」に関する特集です。

■印刷機の修理

弊社では大型印刷機6台と小型印刷機9台、計15台の印刷機が稼働しています。すでに償却を終えている機械もありますので、修理を含む機能改善活動を常に行なっています。

■事後保全と予防保全

機械の修理には2種類あります。よくイメージされるのは、「〇〇が故障したので修理する」というものでしょう。これを事後保全と呼びます。突発的な故障が起きてから対応して修理するため、想定外の修繕費も発生し、会社の利益を圧迫しがちです。もうひとつは予防保全です。これはメンテナンスと言ったほうがイメージしやすいかもしれませんが、日々機械を動かすなかで異常がないか常に点検して機能低下を抑制し、突発的な故障を未然に防ぐことを目的としています。



印刷部活動掲示板に稼働率を記入

■WPM : Wain Preventive Maintenance (わいん式予防保全)

弊社では、「WPM (わいん式予防保全)」を展開しております。最適な予防保全方法というのは、機械の種類や環境によって異なりますから、自社に適した手法を構築・導入しているのです。

突発的な故障の影響は、単に想定外の修理コストがかさむだけに留まりません。修理に時間を取られれば、当然ながら仕事を終えるのも遅れずし、場合によっては納期が遅れ、お客様にご迷惑をかけることも考えられます。

これを全社員の共通認識とした上で、各機の代表者が印刷技能向上と予防保全のための専門知識を習得すべく、大手印刷機メーカーの講座を受講。受講者が報告会を開催して部員と知識を共有しました。また、全体の技能向上に伴って短縮された時間を有効活用し、定期外のメンテナンス・清掃を実施することで、さらなる予防保全に努めています。



印刷部のスタッフ

■WPM の成果

WPMを導入するまでは、傷んだ古い機械の事後保全に多くの費用が割かれていましたが、予防保全により修繕費を必要最低限に抑えて内部留保し、4年がかりでオーバーホール修理を実現させた機械も出てきました。日々の小規模な予防保全ではカバーしきれないところまで徹底的に点検できたおかげで、品質事故も削減することができています。

風流印字(ふうりゅういんじ)の造語。興味深い記事を書いた印刷物の意。

わいわい探検隊!



総務課長なおよんが
会社のインサイドを
レポートします!

⑤『中学生の職場体験』

6月5日～7日の3日間、貴志中学校の2年生の男子生徒2名が職場体験に来てくれました。

職場体験は、生徒にとっては実際の仕事を体験できる、会社にとっては地域社会に貢献できる、貴重な機会です。

今回の配属部署は製品部。印刷が終わって、商品としてお客様にお届けする前の最終加工部署です。

大きな紙を揃えたり、商品の包装などの業務に励んでくれました。工場内での機械の音とインクのおい、立ちっぱなしの作業、また慣れぬ場所での緊張で辛かったと思いますが、一生懸命頑張ってくれました。

この3日間で彼らにとって有意義なものになれば嬉しく思います。



印刷七転び八起き

ちよいとワコで小断をひろう

題目塗り足し

パンフレットの入稿を終えた弥七。あとは完成を待つだけと思っていた矢先、喜八から電話が掛かってきた。

喜八「送ってもらった入稿データなんだが、塗り足しがねえぞ」
弥七「ん？何かまずいのかい？」

喜八「このまま印刷すれば断裁の時、背景の外に白が出るかもしれないねえ。ほんの若干、トンボより内側で切れば白が出ないかもしれないねえが、確証はねえな」

弥七「ちょっと何言ってるか分かんねえや。日本語で言ってくれ」

喜八「全部日本語なんだがな。えーと、お前さんこのデータをA4サイズで作成したよな？」

弥七「ああ、そうさ」

喜八「プロの印刷屋はそれをひと回り大きい紙に印刷して、四方を切り落とすんだが、もし1ミリズレて切ったとしたらどうなると思う？」

弥七「…あ、1ミリ白い部分が出てくるな」

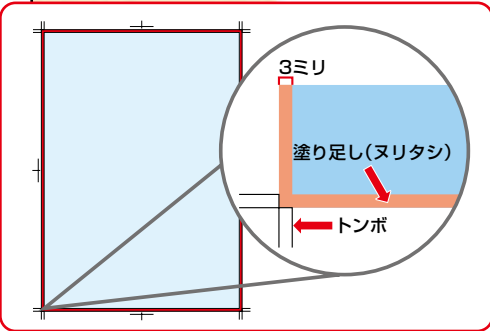
喜八「そう。紙の端(はじ)まで印刷が無いデザインなら気にならないんだが、お前さんが作ったのは、ズチリ端まで背景がある。これがわずか0.1ミリでもズレたら、印刷していない部分が出てくるのさ」

弥七「じゃあどうすればいいんだい？」

喜八「紙の端まで印刷したい部分だけを、仕上げりサイズより3ミリずつ外にはみ出してくれねえか。ちなみにこの3ミリはみ出した部分を塗り足し、塗り足しを切り落とす目印をトンボつてんだ」

弥七「なるほど、こりゃいいことを聞いた。知り合いの印刷営業マンにも教えてやらねえとー」
喜八「おいおい、印刷屋の人間なら知って当然の話だぜ。『恥』の上塗りみたいなこと考えてねえで、早く『端(はじ)』まで印刷できるように塗り足しをつけてくれねえか」

どうもお後がよろしいようで…



走れ、営業マン!!



還暦を迎えて

栗須明秀(営業2部部長:60歳)です!

6月6日で60歳(還暦)を迎えると共に、15日には定年退職となりました。

再雇用で仕事は継続させて頂きますが、この様に無事定年を迎える事が出来たのは、周りの全ての方のお蔭だと思って感謝しております。

新人時代からご指導頂いた諸先輩方、共に頑張った同僚、支えて頂いた後輩や工場の方々、何よりもお世話になったお得意先様、親切にしてくださった発注ご担当の皆様には、本当に感謝・感謝です。

これからも、お得意先様、会社、後輩のためにご恩返し出来る様、頑張りたいと思っております。



休日はいつも海の上。真っ黒に日焼けしてます。

辻本英雄(営業2部係長:49歳)です!

季節も暖かくなりジギングの絶好のシーズンになってきました。

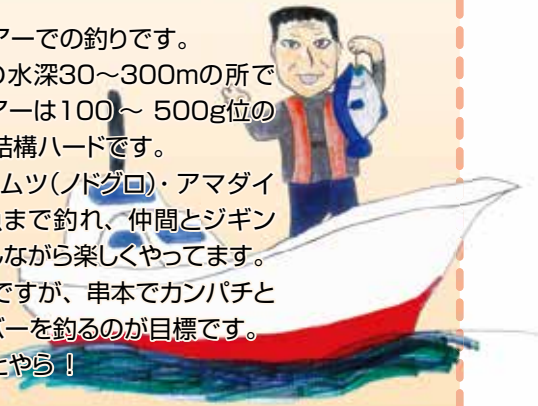
ジギングとは鉛のルアーでの釣りです。

私は主に紀伊半島の水深30~300mの所で釣りをしている、ルアーは100~500g位のジグを使いますので結構ハードです。

青物・根魚からアカムツ(ノドグロ)・アマダイ等の美味しい高級魚まで釣れ、仲間とジギングのイベントに参加しながら楽しくやっています。

釣れないことも多いですが、串本でカンパチとマハタの10kgオーバーを釣るのが目標です。

さて、いつになることやら!



和歌山印刷所ニュースレター・アンケートのコーナー

今回の記事で印象に残った記事などがありましたら下記のチェックボックスにチェックを入れ、感想をご記入の上で FAX を送っていただくとクオカード(500円分)を抽選でプレゼントいたします。(FAX/073-452-2631)

特集[WPM(わいん式予防保全)] わいわい探検隊 印刷七転び八起き 走れ、営業マン!!

ご意見・ご感想等(御社名/ 御氏名/)

編集後記

入社して2年が経ちました。新卒で入った当初は印刷の「い」の字もわかりませんでした。日々を乗り越えるなかで、少しは印刷営業マンらしくなっているのではないのでしょうか。

後輩ができて、いつまでも半人前でいられないと思いつつも、尊敬している先輩が定年を迎えた姿を見ると、まだまだ道程は遠いなと痛感します。先は長くなりそうですが、今後ともよろしく願いいたします。

(編集長: 梶原健太)